

「公立保育所の施設管理に関する基本方針の改訂（案）」に対する意見の概要と市の考え方

No.	項目名	頁	意見の概要	意見に対する市の考え方	方針への反映
1	1 はじめに	1	「新方針の策定に伴い、旧方針を廃止とする。」と記載されていますが、これは当然で、敢えて記述する意図は何でしょうか。旧方針との関係性については、旧方針に基づき施設改善を実行中の施設については、新方針に引き継ぐものとする、と十分と思います。	木造保育所のみを建て替えることとしていた旧方針から大きく方針転換したことから、現方針策定に当たり、このような表現を用いたものです。現行の記事でも、読み手に誤解を与えることはないものと考えており、原案のとおりとします。	—
2	2 現状・課題	4	「ただし、マンション開発・宅地開発等による局所的な保育需要の増加に留意する必要があります。」と記載されていますが、さらに付け加えれば、少子化対策及びそれに伴う結婚・出産後の労働力確保の観点も記載していただくと思えます。なお、「マンション開発」は「マンション建設」の方がよいと思えます。	本記載は保育需要に関する説明を目的としているため、少子化対策や結婚・出産後の労働力確保の観点との関連は限定的であると考えています。また、「マンション開発」の表現については、現行の記事でも読み手に誤解を与えることはないものと考えており、原案のとおりとします。	—
3	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	13、14	建替えに伴う民営化には反対です。民営化により保育施設の運営の継続性や安定性に不安を感じています。また、令和2年のパブリックコメントにおいて市が、保育需要が見込まれる保育所を選定しているため閉園リスクは低いとしていることや、市の民間移管では運営の安定性の観点から、整備・運営法人を公的関与が強く公益性の高い非営利法人である社会福祉法人及び学校法人に限るとしていることについても、不十分であると考えています。自身の経験として、中央区で複数の専門学校を抱える学校法人が運営する認可外保育施設に子どもを通わせていましたが、利用者がいるにもかかわらず突然閉園となり、転園先の確保に苦慮しました。このため、保育施設は市が責任をもって運営すべきと考えています。	今後、超高齢社会への対応をはじめ、社会保障関係経費の増加や市有施設の老朽化対策、物価高騰等による行政コストの増加が見込まれている中で、多大な財源を必要とする公立保育所の運営を、今後15年間で40か所というペースで進めていくためには、一定数の民営化が必要であると考えております。民営化に当たっては、安定的かつ継続的な運営や保育の質を担保する観点から、整備運営法人を保育所等の運営実績を有する社会福祉法人又は学校法人に限定するとともに、外部の有識者による厳正な審査を経て決定することとしており、引き続き、優良な法人の参入を得ることができるよう努めて参ります。認可外保育施設の突然の閉園をご経験されたとのこと、大変なご苦勞をされたこととお察しいたします。上記のように選定された法人が運営する保育園において、同様の事態が生じることのないよう、認可権者として、指導監督を徹底して参ります。	—
4	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	13、14	子どもや孫が公立保育所に通い、安心して仕事ができたと経験から、公立保育所がなくなること心配しています。公立保育所は大切なものであり、新たに整備する保育所についても公設公営を望みます。保育は重要な仕事であるため、利益目的ではなく市の責任で運営してほしいです。	今後、超高齢社会への対応をはじめ、社会保障関係経費の増加や市有施設の老朽化対策、物価高騰等による行政コストの増加が見込まれている中で、多大な財源を必要とする公立保育所の運営を、今後15年間で40か所というペースで進めていくためには、一定数の民営化が必要であると考えております。民営化に当たっては、安定的かつ継続的な運営や保育の質を担保する観点から、整備運営法人を保育所等の運営実績を有する社会福祉法人又は学校法人に限定するとともに、外部の有識者による厳正な審査を経て決定することとしており、引き続き、優良な法人の参入を得ることができるよう努めて参ります。また、移管後の運営に関しては、認可権者として、指導監督を徹底して参ります。	—
5	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	13、14	子ども一人ひとりの成長・発達を保障することは国の責任ですし、施設の老朽化は建替えて対応すればいいです。また、少子化による学校の少人数化は理想的であり、保育所も縮小するのであれば、地域の子育てセンターとして多様に活用するなど拡充すべきです。民営化や統廃合には反対です。福祉や教育の予算を増やすよう国に要請してほしいです。	今後、超高齢社会への対応をはじめ、社会保障関係経費の増加や市有施設の老朽化対策、物価高騰等による行政コストの増加が見込まれている中で、多大な財源を必要とする公立保育所の運営を、今後15年間で40か所というペースで進めていくためには、一定数の民営化が必要であると考えております。民営化に当たっては、安定的かつ継続的な運営や保育の質を担保する観点から、整備運営法人を保育所等の運営実績を有する社会福祉法人又は学校法人に限定するとともに、外部の有識者による厳正な審査を経て決定することとしており、引き続き、優良な法人の参入を得ることができるよう努めて参ります。また、統廃合は、コスト削減につながるものではありますが、少子化が進行する中で、民間保育施設とのバランスも含めて、保育資源を適正に配置する観点から実施するものです。現計画及び改訂案において統廃合の対象としている公立保育所については、周辺地域の少子高齢化が進行し、現状の就学前児童数に対して、保育所の箇所数や各保育所の定員数が過大な状況になることから、配置や規模の適正化を図る必要があり、今後の保育需要の動向や周辺地域にお住まいの子育て家庭への影響等を踏まえて慎重に検討した上で、統廃合の対象としております。地域の子育てセンターとしての多様な活用や、国への予算増額の要望については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。	—
6	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	14	統廃合に反対です。保護者の就労継続への影響や子どもの負担増を懸念するとともに、少子化の進行への影響も危惧しています。子どもは社会の宝であり、健やかな育ちの保障をお願いいたします。	統廃合は、コスト削減につながるものではありますが、少子化が進行する中で、民間保育施設とのバランスも含めて、保育資源を適正に配置する観点から実施するものです。現計画及び改訂案において統廃合の対象としている公立保育所については、周辺地域の少子高齢化が進行し、現状の就学前児童数に対して、保育所の箇所数や各保育所の定員数が過大な状況になることから、配置や規模の適正化を図る必要があり、今後の保育需要の動向や周辺地域にお住まいの子育て家庭への影響等を踏まえて慎重に検討した上で、統廃合の対象としております。引き続き、保育を含めたさまざまな子育て支援を通じて、子育てと仕事が両立できる環境づくりに取り組んで参ります。	—
7	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	14	公立保育所が働く保護者にとって重要な役割を担っていること、また民間園ではできないこともあるため、公的責任で子どもたちの健全な育ちを保障してほしいです。地域に保育所がなければ働けないため、統廃合はやめてほしいです。保育・教育にお金を使い、住みよい千葉市にしたいです。	働く保護者とそのお子さんを支えるという役割については、公立保育所と民間保育施設との間で差異はないと考えております。今後、超高齢社会への対応をはじめ、社会保障関係経費の増加や市有施設の老朽化対策、物価高騰等による行政コストの増加が見込まれている中で、多大な財源を必要とする公立保育所の運営を、今後15年間で40か所というペースで進めていくためには、一定数の民営化が必要であると考えております。民営化に当たっては、安定的かつ継続的な運営や保育の質を担保する観点から、整備運営法人を保育所等の運営実績を有する社会福祉法人又は学校法人に限定するとともに、外部の有識者による厳正な審査を経て決定することとしており、引き続き、優良な法人の参入を得ることができるよう努めて参ります。また、統廃合は、コスト削減につながるものではありますが、少子化が進行する中で、民間保育施設とのバランスも含めて、保育資源を適正に配置する観点から実施するものです。現計画及び改訂案において統廃合の対象としている公立保育所については、周辺地域の少子高齢化が進行し、現状の就学前児童数に対して、保育所の箇所数や各保育所の定員数が過大な状況になることから、配置や規模の適正化を図る必要があり、今後の保育需要の動向や周辺地域にお住まいの子育て家庭への影響等を踏まえて慎重に検討した上で、統廃合の対象としております。	—
8	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	14	子どもの育成において、のびのびとした開放感のある環境で生活することが重要であり、狭い環境を子どもに強いるべきではありません。統廃合には反対です。	統廃合は、コスト削減につながるものではありますが、少子化が進行する中で、民間保育施設とのバランスも含めて、保育資源を適正に配置する観点から実施するものです。現計画及び改訂案において統廃合の対象としている公立保育所については、周辺地域の少子高齢化が進行し、現状の就学前児童数に対して、保育所の箇所数や各保育所の定員数が過大な状況になることから、配置や規模の適正化を図る必要があり、今後の保育需要の動向や周辺地域にお住まいの子育て家庭への影響等を踏まえて慎重に検討した上で、統廃合の対象としております。なお、統廃合に際しては、園舎や園庭の広さを十分に確保いたします。	—
9	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	14	統廃合で公立保育所を減らさないください。公的責任で子どもたちの健やかな育ちを保障するとともに、災害時の安全も確保してください。また、保障や教育に十分な予算を付けてください。	統廃合は、コスト削減につながるものではありますが、少子化が進行する中で、民間保育施設とのバランスも含めて、保育資源を適正に配置する観点から実施するものです。現計画及び改訂案において統廃合の対象としている公立保育所については、周辺地域の少子高齢化が進行し、現状の就学前児童数に対して、保育所の箇所数や各保育所の定員数が過大な状況になることから、配置や規模の適正化を図る必要があり、今後の保育需要の動向や周辺地域にお住まいの子育て家庭への影響等を踏まえて慎重に検討した上で、統廃合の対象としております。災害時の安全確保については、適切に対応して参ります。	—
10	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	14	一時預かりや子育て支援センター、要配慮児への対応など、充実してほしいことが多くあります。定員に余裕ができた時こそ、それらを充実させる機会にできるのではないのでしょうか。縮小に向けた統廃合ではなく、充実に向けた存続を望みます。また、保育所は身近な地域に必要であり、統廃合には反対です。	統廃合は、コスト削減につながるものではありますが、少子化が進行する中で、民間保育施設とのバランスも含めて、保育資源を適正に配置する観点から実施するものです。現計画及び改訂案において統廃合の対象としている公立保育所については、周辺地域の少子高齢化が進行し、現状の就学前児童数に対して、保育所の箇所数や各保育所の定員数が過大な状況になることから、配置や規模の適正化を図る必要があり、今後の保育需要の動向や周辺地域にお住まいの子育て家庭への影響等を踏まえて慎重に検討した上で、統廃合の対象としております。改訂案でお示ししましたとおり、存置する公立保育所においては、一時預かり、こども誰でも通園制度、休日保育、医療的ケアを必要とする子どもや重度の障害のある子どもの受入れなど、民間保育施設のみでは担い手確保が困難な分野において、より積極的な役割を果たしていく所存です。	—

「公立保育所の施設管理に関する基本方針の改訂（案）」に対する意見の概要と市の考え方

No.	項目名	頁	意見の概要	意見に対する市の考え方	方針への反映
11	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	14	保育所は身近な地域に必要です。市民が平等に子育て支援を受けられるよう、統廃合するのではなく、どの地域でも安心して保育が受けられるようにしてください。また、財政面を理由に統廃合はしないでください。	統廃合は、コスト削減につながるものでもありますが、少子化が進行する中で、民間保育施設とのバランスも含めて、保育資源を適正に配置する観点から実施するものです。現計画及び改訂案において統廃合の対象としている公立保育所については、周辺地域の少子高齢化が進行し、現状の就学前児童数に対して、保育所の箇所数や各保育所の定員数が過大な状況になることから、配置や規模の適正化を図る必要があり、今後の保育需要の動向や周辺地域にお住いの子育て家庭への影響等を踏まえて慎重に検討した上で、統廃合の対象としております。	—
12	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	14	公立保育所のこれ以上の統廃合には反対です。公立保育所は地域で大きな役割を担っており、民間では経営が困難な地域においても必要です。また、保育をコスト面だけで判断するのは適切ではありません。	統廃合は、コスト削減につながるものでもありますが、少子化が進行する中で、民間保育施設とのバランスも含めて、保育資源を適正に配置する観点から実施するものです。現計画及び改訂案において統廃合の対象としている公立保育所については、周辺地域の少子高齢化が進行し、現状の就学前児童数に対して、保育所の箇所数や各保育所の定員数が過大な状況になることから、配置や規模の適正化を図る必要があり、今後の保育需要の動向や周辺地域にお住いの子育て家庭への影響等を踏まえて慎重に検討した上で、統廃合の対象としております。改訂案でお示ししましたとおり、民間保育施設の参入が見込まれない人口減少地域等における保育については、引き続き、公立保育所が役割を果たしていく必要があると考えております。	—
13	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	14	統廃合は子どもや保護者にとって大きな負担であるため反対です。また、保育所は身近な地域に必要であり、統廃合には反対です。さらに、保育や教育をコスト面で判断するのは適切ではなく、財政面を理由とした統廃合には反対です。	統廃合は、コスト削減につながるものでもありますが、少子化が進行する中で、民間保育施設とのバランスも含めて、保育資源を適正に配置する観点から実施するものです。現計画及び改訂案において統廃合の対象としている公立保育所については、周辺地域の少子高齢化が進行し、現状の就学前児童数に対して、保育所の箇所数や各保育所の定員数が過大な状況になることから、配置や規模の適正化を図る必要があり、今後の保育需要の動向や周辺地域にお住いの子育て家庭への影響等を踏まえて慎重に検討した上で、統廃合の対象としております。	—
14	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	14	民間では担えないことが増える中で公立保育所の役割はますます大きくなっており、公的責任で子どもたちの健やかな育ちを保障するためにも、統廃合で公立保育所を減らさないでください。また、統廃合により身近に保育所がなくなると、送迎など保護者の負担が大きくなります。さらに、保育や教育をコスト面で判断するのは適切ではなく、財政面を理由とした統廃合には反対です。あわせて、保育所は地域の誰もが気軽に立ち寄れる場所として残してほしい、そのためにも統廃合はしないでください。	統廃合は、コスト削減につながるものでもありますが、少子化が進行する中で、民間保育施設とのバランスも含めて、保育資源を適正に配置する観点から実施するものです。公民の区別を問わず、保育所が地域の子育て支援に貢献すべき施設であると考えておりますが、現計画及び改訂案において統廃合の対象としている公立保育所については、周辺地域の少子高齢化が進行し、現状の就学前児童数に対して、保育所の箇所数や各保育所の定員数が過大な状況になることから、配置や規模の適正化を図る必要があり、今後の保育需要の動向や周辺地域にお住いの子育て家庭への影響等を踏まえて慎重に検討した上で、統廃合の対象としております。改訂案でお示ししましたとおり、存置する公立保育所においては、一時預かり、こども誰でも通園制度、休日保育、医療的ケアを必要とする子どもや重度の障害のある子どもの受入れなど、民間保育施設のみでは担い手確保が困難な分野において、より積極的な役割を果たしていく所存です。	—
15	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	14	民間園では担えないことが増える中で、公立保育所の果たす役割は大きいです。統廃合により公立保育所を減らすことには反対です。公的責任で子どもたちの健やかな育ちを保障してください。	統廃合は、コスト削減につながるものでもありますが、少子化が進行する中で、民間保育施設とのバランスも含めて、保育資源を適正に配置する観点から実施するものです。現計画及び改訂案において統廃合の対象としている公立保育所については、周辺地域の少子高齢化が進行し、現状の就学前児童数に対して、保育所の箇所数や各保育所の定員数が過大な状況になることから、配置や規模の適正化を図る必要があり、今後の保育需要の動向や周辺地域にお住いの子育て家庭への影響等を踏まえて慎重に検討した上で、統廃合の対象としております。改訂案でお示ししましたとおり、存置する公立保育所においては、一時預かり、こども誰でも通園制度、休日保育、医療的ケアを必要とする子どもや重度の障害のある子どもの受入れなど、民間保育施設のみでは担い手確保が困難な分野において、より積極的な役割を果たしていく所存です。	—
16	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	14	多部田保育所の近くには民間保育園もなく、廃止となった場合には遠方の保育所への通園が必要となり、送迎時間や距離の増加が保護者の大きな負担になります。そのため、保護者の生活にそぐわない統廃合には反対です。	多部田保育所と、その統合先としている大宮台保育所との間の距離は約3キロであり、車で7分程度、自転車で12分程度が見込まれます。多部田保育所の周辺にお住まいの方々には、現状と比べてご不便をおかけすることとなり、大変心苦しく存じますが、統廃合を予定している令和16年度時点における周辺地域の就学前児童数や保育需要を考慮すると、多部田保育所を単体で存置することは困難であると考えております。	—
17	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	14	保育所は身近な地域に必要であり、多部田保育所の廃止により地域の少子化がさらに進むことを懸念しています。統廃合には反対です。	多部田保育所と、その統合先としている大宮台保育所との間の距離は約3キロであり、車で7分程度、自転車で12分程度が見込まれます。多部田保育所の周辺にお住まいの方々には、現状と比べてご不便をおかけすることとなり、大変心苦しく存じますが、統廃合を予定している令和16年度時点における周辺地域の就学前児童数や保育需要を考慮すると、多部田保育所を単体で存置することは困難であると考えております。	—
18	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	14	保育や教育を財政面で判断するべきではなく、財政面を理由とした統廃合には反対です。	統廃合は、コスト削減につながるものでもありますが、少子化が進行する中で、民間保育施設とのバランスも含めて、保育資源を適正に配置する観点から実施するものです。現計画及び改訂案において統廃合の対象としている公立保育所については、周辺地域の少子高齢化が進行し、現状の就学前児童数に対して、保育所の箇所数や各保育所の定員数が過大な状況になることから、配置や規模の適正化を図る必要があり、今後の保育需要の動向や周辺地域にお住いの子育て家庭への影響等を踏まえて慎重に検討した上で、統廃合の対象としております。	—
19	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	14	保育士の確保が困難になっている中で、民間では事業を縮小せざるを得なかったり、新たな事業の実施が難しくなっています。保護者が地域で保育所を選ぶ選択肢を狭めないためにも、公立保育所が一時預かりや休日保育などをさらに担っていくことが必要ではないでしょうか。今回、多部田と大宮台、さつきが丘第一と第二の統廃合計画が示されていますが、児童数や保育需要の減少は見通しとおりに進むとは限らず、不確定要素もあるため、安易に統廃合を進めないでください。また、民間による建替えが先延ばしになっている状況があります。今後、人口減少が進む中では民間が運営に積極的に参入することは難しいのではないかと思いますので、公立保育所の建替えは公立で行ってください。	改訂案でお示ししましたとおり、存置する公立保育所においては、一時預かり、こども誰でも通園制度、休日保育、医療的ケアを必要とする子どもや重度の障害のある子どもの受入れなど、民間保育施設のみでは担い手確保が困難な分野において、より積極的な役割を果たしていく所存です。統廃合対象の保育所については、定期的に入所状況や周辺地域の保育需要を確認し、現時点の見通しと実態とに齟齬が生じた場合には、統廃合の時期を調整するなど、保育運営に無理が生じないように留意して参ります。今後、超高齢社会への対応をはじめ、社会保障関係経費の増加や市有施設の老朽化対策、物価高騰等による行政コストの増加が見込まれている中で、多大な財源を必要とする公立保育所の建替を、今後15年間で40か所というペースで進めていくためには、一定数の民営化が必要であると考えております。民営化に当たっては、安定的かつ継続的な運営や保育の質を担保する観点から、整備運営法人を保育所等の運営実績を有する社会福祉法人又は学校法人に限定するとともに、外部の有識者による厳正な審査を経て決定することとしており、引き続き、優良な法人の参入を得ることができるよう努めて参ります。なお、公立・民間を問わず、保育士確保が大きな課題となっていることはご指摘のとおりであり、引き続き、国にも抜本的な対策を要望しつつ、処遇改善や労働条件の改善等に取り組んで参ります。	—
20	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	14	身近な地域の公立保育所に通えることが子どもや保護者にとって重要であり、負担が増える統廃合には反対です。また、保育や教育をコスト面や財政面のみで判断すべきではありません。さらに、公立保育所は障害児保育などにおいて子どもの個性を尊重したきめ細かな保育を行っており、その役割を失うことにも反対です。	統廃合は、コスト削減につながるものでもありますが、少子化が進行する中で、民間保育施設とのバランスも含めて、保育資源を適正に配置する観点から実施するものです。現計画及び改訂案において統廃合の対象としている公立保育所については、周辺地域の少子高齢化が進行し、現状の就学前児童数に対して、保育所の箇所数や各保育所の定員数が過大な状況になることから、配置や規模の適正化を図る必要があり、今後の保育需要の動向や周辺地域にお住いの子育て家庭への影響等を踏まえて慎重に検討した上で、統廃合の対象としております。公立保育所においては、引き続き、障害のある子どもを含め、それぞれの個性を尊重したきめ細かな保育を提供して参ります。また、改訂案でお示ししましたとおり、医療的ケアを必要とする子どもや重度の障害のある子どもの受入れにおいて、より積極的な役割を果たしていく所存です。	—

「公立保育所の施設管理に関する基本方針の改訂（案）」に対する意見の概要と市の考え方

No.	項目名	頁	意見の概要	意見に対する市の考え方	方針への反映
21	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	14	公立保育所の統廃合には反対であり、身近な地域で保育が受けられることが重要であると考えています。 統廃合により送迎距離が長くなるなど、保護者や児童への負担が増加することを懸念しています。 また、公立保育所の役割は大きく、公立保育所だからこそできることが多くあると考えています。 税金は子どもたちのために役立ててほしいと考えています。	統廃合は、コスト削減につながるものではありますが、少子化が進行する中で、民間保育施設とのバランスも含めて、保育資源を適正に配置する観点から実施するものです。 現計画及び改訂案において統廃合の対象としている公立保育所については、周辺地域の少子高齢化が進行し、現状の就学前児童数に対して、保育所の箇所数や各保育所の定員数が過大な状況になることから、配置や規模の適正化を図る必要があり、今後の保育需要の動向や周辺地域にお住いの子育て家庭への影響等を踏まえて慎重に検討した上で、統廃合の対象としております。 改訂案でお示ししましたとおり、存置する公立保育所においては、一時預かり、こども誰でも通園制度、休日保育、医療的ケアを必要とする子どもや重度の障害のある子どもの受入れなど、民間保育施設のみでは担い手確保が困難な分野において、より積極的な役割を果たしていく所存です。	—
22	4 公立保育所の施設管理の方向性を踏まえた施策展開	17	巡回指導について、民間園が増えている中で十分に回り切れないのではないのでしょうか。 すべての公立保育所・民間園を回ると回数が年1回程度になってしまうのではないのでしょうか。 また、公立保育所で行っているような障害のある児童への対応に関する研修について、民間園でも受け入れができるよう、市と民間で連携して研修機会を増やしてください。 現在受け入れていない園についても参加を義務付けてください。 巡回指導や監査は保育の質の向上に大切ですので、回数を増やし、保育環境の向上に力を入れてください。	巡回指導については、保育の質の向上を図るために、適宜保育の現場を確認し、具体的な助言・指導を行うとともに、施設からの相談に応じることが重要であると認識していることから、引き続き必要な巡回指導員の確保に努めてまいります。 なお、障害のある児童への対応に関する研修については、民間保育園の職員も対象にした市主催の研修を実施して受講勧奨を行うほか、「ちばし幼児教育・保育人材支援センター」において研修情報を体系的に整理し各施設に提供し、職員の資質向上に取り組んでまいります。	—
23	その他の意見	-	令和2年のパブリックコメントにおいて、民営化に反対する趣旨の意見が200件以上あったにもかかわらず、基本方針の修正が限定的であったことに疑問を感じています。 基本方針やパブリックコメントは、地域や子育て世帯の意見を十分に聞き、反映するものではないのかと考えています。また、市の都合による負担が子育て世帯に押し付けられているように感じています。	パブリックコメントにおいていただいたご意見については、件数にかかわらず内容を一つひとつ確認し、方針への反映の可否を検討しております。 その際、政策全体の整合性や持続可能性の観点なども踏まえながら、反映の可否や内容を判断しております。 令和3年の基本方針策定時においても、多くのご意見をいただきましたが、こうした考え方に基づき修正内容を決定しております。 ご指摘のとおり、子育て世帯の皆様のご意見を踏まえて施策を進めていくことは重要であると認識しており、市の取組により過度なご負担をおかけすることがないように、十分配慮していく必要があると考えております。 今後も、いただいたご意見を大切にしながら、丁寧な説明に努めるとともに、引き続き、適切に施策を推進してまいります。	—
24	その他の意見	-	千葉駅付近では局所的な保育施設の不足が生じているので、新宿保育所の定員増などの対策を実施いただきたいです。	JR千葉駅周辺では、複数のマンション開発が実施・予定されていることから、保育需要の動向を注視しているところです。 新宿保育所の定員増は困難ですが、需要分析の結果、真に必要と判断した場合には、民間保育施設の整備等により、ニーズに応じた保育の受け皿を確保してまいります。	—
25	その他の意見	-	働いている人は身近に保育所がないと働き続けることができません。 少子化対策のためにも、働きやすい環境を作ってください。	今後も待機児童ゼロを継続し、現役世代の子育てと仕事の両立や少子化対策を進め、保育を含めたさまざまな子育て支援を通じて、働きやすい環境づくりに取り組んでまいります。	—
26	その他の意見	-	保育所は地域に必要な施設です。	本市としても、公立・民間問わず、保育所、認定こども園、幼稚園をはじめとする保育施設は、地域に欠かせない存在であると認識しております。	—
27	その他の意見	-	子どもにお金をかけることは将来を背負う人を育てることであり、政治の責任です。 また、幼児が複数いる場合には保育所が近くにあることが重要であり、減らさないでほしいです。 さらに、親の負担軽減や、若い人が千葉で子育てできるような支援は必要です。	今後も待機児童ゼロを継続し、現役世代の子育てと仕事を両立することができる環境づくりに努めるとともに、保育を含めたさまざまな子育て支援を通じて、保護者の負担軽減にも努めてまいります。	—
28	その他の意見	-	公立保育所は、子どもにとって成長に欠かせない大切な場です。 これ以上、子どもたちの大切な場をなくさないでください。	今後、超高齢社会への対応をはじめ、社会保障関係経費の増加や市有施設の老朽化対策、物価高騰等による行政コストの増加が見込まれている中で、多大な財源を必要とする公立保育所の建替を、今後15年間で40か所というペースで進めていくためには、一定数の民営化が必要であると考えております。 民営化に当たっては、安定的かつ継続的な運営や保育の質を担保する観点から、整備運営法人を保育所等の運営実績を有する社会福祉法人又は学校法人に限定するとともに、外部の有識者による厳正な審査を経て決定することとしており、引き続き、優良な法人の参入を得ることができるよう努めてまいります。 また、統廃合は、コスト削減につながるものではありますが、少子化が進行する中で、民間保育施設とのバランスも含めて、保育資源を適正に配置する観点から実施するものです。 現計画及び改訂案において統廃合の対象としている公立保育所については、周辺地域の少子高齢化が進行し、現状の就学前児童数に対して、保育所の箇所数や各保育所の定員数が過大な状況になることから、配置や規模の適正化を図る必要があり、今後の保育需要の動向や周辺地域にお住いの子育て家庭への影響等を踏まえて慎重に検討した上で、統廃合の対象としております。	—